行政手続きを効率化して、柔軟な働き方を手に入れませんか

書類作成や提出時の移動時間など非効率が多い社会保険手続き

書類提出時の往復時間や待機時間など、制限された中で対応しなければならない



社会保険手続きの主な課題

- ハローワークや年金事務所への書類提出
- 社会保険手続きに必要な書類作成
- 従業員との申請情報のやり取り
- 公文書の長期保存

社会保険手続き　電子化のメリットとは？

いつでもどこでも、場所や時間の制限を受けずに提出可能



導入のメリット

- ✓ 電子申請によってハローワークなどの行政窓口への提出時間を削減
- ✓ 勤怠や給与ソフトと情報連携することで転記作業の負荷を軽減
- ✓ 公文書も電子データでそのまま保存

社会保険手続き　電子化に向けて何が必要？



準備から事後作業までを電子化。行政手続は効率化できる！

電子申請に向けた注意点やメリットなどを
コラム形式でご紹介しています。

https://workstyle.ricoh.co.jp/article/administrative-procedure.html

詳細情報は
コチラ▶

ご存知ですか？社会保険の適用拡大について

2022年10月より社会保険の適用範囲が拡大されます

現在	2022年10月以降	2024年10月以降
従業員数**501**人以上の企業	従業員数**101**人以上の企業	従業員数**51**人以上の企業

ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

社会保険適用拡大特設サイトへ ▶

https://www.mhlw.go.jp/tekiyoukakudai/

今年の年末調整はどう乗り切る？　昨年は大幅改正で負担増

年々変わる年末調整申告内容に
記載漏れや計算違いなど混乱続出

今年も大変かもしれない



人事労務担当者

令和2年の大幅改正の概要

-給与所得控除額の**引き下げ**
-基礎控除額額の**引き上げ**
-所得金額調整控除の**新設**
-扶養親族等の合計所得金額要件の**見直し**
-ひとり親控除・寡婦控除の**見直し**

年末調整申告の課題

- ☐ 税制改正の確認や変更点の理解
- ☐ 従業員の人数分の申告書配布や回収
- ☐ 記載内容のチェックや差戻し
- ☐ 源泉徴収票作成や行政窓口への提出

年末調整電子化のメリットとは？

申告書作成の負担を軽減
短期間の申告書作成と提出が可能



導入のメリット

- ✓ 申告用紙の印刷や配布が不要
- ✓ 控除額の自動計算など再提出リスク軽減
- ✓ 申告書の確認や訂正依頼もカンタン
- ✓ 給与計算ソフトと連携して電子申告



今年の年末調整は電子化のハードルが下がる？

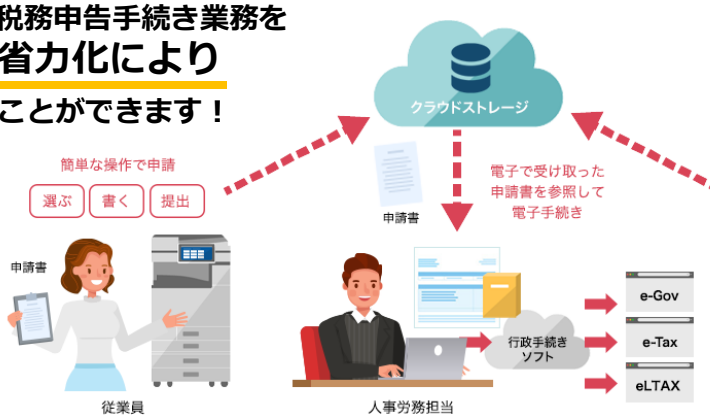
従業員から年末調整申告書を電子で受け取る場合、
従来必要だった税務署長への届け出が不要となります。

国税庁（令和3年4月源泉所得税の改正のあらまし）より
https://www.nta.go.jp/publication/pamph/gensen/0021004-072.pdf

詳細情報は
コチラ ▶

RICOH 行政手続き効率化パック でお客様の課題を解決します

社会保険や税務申告手続き業務を
自動化・省力化により
効率化することができます！



商品ページは
コチラ ▶

3分でわかる！
イメージ動画は
コチラ ▶

https://www.ricoh.co.jp/solutions/workstyle/improvement/administrative-procedures